

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 235 〔屍山血河〕 しざん けつが

< 意味 > 激しい戦闘のたとえ。また、そのあとの惨状のこと。屍しかばねの山と血の河の意から。

表 現 : 屍山血河の激戦地

用 例 : 屍山血河の力攻をしても陥ちなかった稲葉山城が、猿の敵地におけるごく日常的な調略活動のつみかさねの結果、ころりと陥ちたのである。<司馬遼太郎・新史太閤記>

語 釈 : 「血河」は「けっか」とも読む。「屍」は「尸」とも書く。

一 言 : 2月下旬に始まったロシア軍の侵攻によるウクライナでの戦争は、もうすぐ8ヶ月になります。ウクライナ軍が反転攻勢をかける戦場では、まさしくこの四字熟語のような悲惨な状況が続いているのでしょうか。全世界の叡智を集めてもこの悲劇を止めさせることはできないのでしょうか。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」